

2026年7月31日

報道関係各位

株式会社JPF

6歳から57歳まで34名がMTBに挑戦！

「MTB Challenge 2026 富山ステージ」を開催

～小学生向けコース攻略レッスンから90分耐久レースまで、県内外の幅広い世代が参加～

株式会社JPF（本社：東京都千代田区、代表取締役：渡辺俊太郎、以下「JPF」）は、富山市より業務委託を受け、2026年7月5日（日）、NiXスポーツアカデミーサイクルパーク（富山県富山市）にて、富山市主催の「MTB Challenge 2026 富山ステージ」を運営しました。

本イベントは、富山市が進めるアーバンスポーツの魅力発信・普及促進事業の一環として、子どもから大人までがマウンテンバイク（MTB）に触れ、それぞれの経験やレベルに応じて走る楽しさを体感できる機会を提供することを目的に開催したものです。

当日は、6歳から57歳までの34名が参加し、会場全体では約70名が来場しました。小学生向けのコース攻略レッスン、学年別のキッズレース、60分・90分の耐久レースを実施し、MTBに初めて触れる参加者から競技経験者まで、それぞれの目標を持ってレースコースに挑戦しました。



参加者・関係者の集合写真（NiXスポーツアカデミーサイクルパーク）

【実際のレースコースで走行のポイントを学び、キッズレースに挑戦】

大会は、受付と試走を経て、小学生を対象とした「コース攻略レッスン」からスタートしました。本イベントの運営の一部を担うSLmediaの山口創平氏が指導を担当し、JPF社員で元プロライダーの松尾純が指導をサポートしました。

レッスンでは、実際のレースコースを使い、安全な走行方法や起伏のあるコースを走る際のポイントを指導。子どもたちはレース本番を前に、実際に走りながらコースの特徴を確かめました。レッスンとレースを組み合わせることで、学んだ内容をその後の走行で実践できるプログラムとしました。



コース攻略レッスンの様子

レッスン後は、学年別のキッズレースへ。子どもたちは、事前に確認したコースの特徴や走行のポイントを意識しながら、それぞれのペースでゴールを目指しました。

【県内外から参加、それぞれの経験に応じてレースに挑戦】

キッズレースに続いて、子どもから大人まで参加できる60分・90分の耐久レースを開催しました。参加者は、自身の体力や経験に応じて種目を選び、起伏のあるコースで周回を重ねました。



スタートラインに並ぶキッズレース参加者

富山県内に加え、石川県、奈良県、愛知県、兵庫県からも参加があり、県境を越えてMTB愛好者や家族連れが集いました。参加者からは、「デコボコの道を走ることができて楽しかった」「走りきることができて嬉しかった。また参加したい！」といった声が寄せられました。

各レース終了後には表彰式を行い、参加者同士が互いの頑張りをたたえ合いました。

【「体験」から「競技」へ、継続的な参加につながる機会に】

今回の参加者には、富山競輪場に併設されている「サイクルパークとやま」を日頃から利用している方も多く含まれていました。同施設で自転車に親しんできた利用者が、本イベントを通じて実際のレースに挑戦するなど、日常的な「体験」から「競技」へと段階的に進む機会となりました。

こうした流れは、自転車に触れる「体験」から継続的な参加、競技へと段階的につなぐ「アスリートパスウェイ」の考え方に沿うものです。日常的に自転車に親しむ場と、実際のレースに挑戦できる機会をつなぐことで、MTBをはじめとする自転車競技の裾野拡大を目指します。

【地域と連携し、レースの前後も楽しめる会場づくり】

競技以外の企画として、協賛企業から提供された景品が当たるガラポン抽選会を実施しました。また、開催地である八尾町を拠点に活動する桐谷六合企画の協力を得て、Bamboo save the earthが出展し、地域食材を使用した焼きそばと豚汁を販売しました。



「Bamboo save the earth」の出展ブースで焼きそばを販売する様子

JPFは、イベントの企画・広報・参加者対応・当日運営に加え、桐谷六合企画や出展者との調整も担当。競技プログラムと会場企画を組み合わせ、参加者や来場者がレースの前後も楽しめる会場づくりに取り組みました。

【開催概要】

名称: MTB Challenge 2026 富山ステージ

開催日時: 2026年7月5日(日)8:00~13:00

会場: NiXスポーツアカデミーサイクルパーク(富山市久婦須川ダム周辺広場マウンテンバイクコース／〒939-2333 富山県富山市八尾町桐谷16番地2)

主催: 富山市

運営: 株式会社JPF

対象・参加者数: 小学生から大人まで／実参加者34名、延べ参加者数41名(会場全体の来場者数: 約70名)

主な内容: 小学生向けコース攻略レッスン、キッズレース、**60分・90分耐久レース**、表彰式、ガラポン抽選会

助成: 公益財団法人スポーツ安全協会「スポーツ活動等普及奨励助成事業」

【株式会社JPFについて】

1950年、競輪やボートレースなどの公営競技におけるゴール着順判定用スリットカメラを発明。以来、多くの公営競技場において判定業務を支えてきました。2010年からは公営競技場のトータルマネジメント事業を開始し、全国各地で運営支援を展開しています。「人の成長機会を提供できる企業であり続けること」を理念に、地域活性化やサイクルスポーツ振興など、多様な取り組みを推進しています。

【メディアキット】

キット内の素材は本プレスリリースを掲載していただく場合のみ使用可能です。

<https://drive.google.com/drive/folders/1-fFFiJ54wr-poGzSa8JfT3XTPxq6B93o>



【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社JPF

スポーツ・地域振興部(担当: 明珍、田中)

電話番号: 03-6697-7166

お問い合わせフォーム: <https://www.jpfc.co.jp/contact/press/>

